

令和 3 年度

「運営に関する計画」  
(最終評価)

大阪市立加美小学校

令和 4 年 3 月

## 大阪市立加美小学校 令和 3 年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

## 1 学校運営の中期目標

**現状と課題**

平成 28 年度「全国学力・学習状況調査」結果から平均正答率では、国語 A が対大阪市比 95.7%、国語 B が対大阪市比 93.4%、算数 A が対大阪市比 92.6%、算数 B が対大阪市比 91.5% という結果となり、大阪市平均正答率より、平均約 6.7% 下回っている。平均無回答率は、対大阪市比で 126～186% と大きく上回っている。また、経年テストの結果からどの学年でも大阪市平均正答率より、教科によりバラつきはあるものの平均約 5 点下回っている。

また、児童生徒の問題行動等生活指導上の諸問題に関する調査の結果から、共通理解した指導方針に基づき、報告・連絡・相談を徹底した。打ち合わせを頻繁に行い、いじめアンケートを活用し児童の状況の把握に努めた。いじめの解消に向けては、早急に対応し解決に努めている。また、休みがちな児童には、家庭と連携し協力を図りながら、スクールカウンセラー・こども相談センター・区子育て支援室等の専門機関とも連携し不登校解消に努めている。

**中期目標****【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】**

- 平成 29 年度～令和 3 年度の年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消に向けて対応している割合を毎年 95% にする。  
(施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)
- 令和 3 年度の小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる」と答える児童の割合を、85% 以上にする。  
(施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)
- 令和 3 年度の小学校学力経年調査における「自分には、良いところがあると思いますか」の項目について、肯定的回答をする児童の割合を、75% 以上にする。  
(施策 2 道徳心・社会性の育成)
- 令和 3 年度末の保護者アンケートにおける「学校は、家庭・地域と連携した特色ある取り組みを進めている」の質問に肯定的回答をする保護者の割合を 70% より向上させる。  
(施策 3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援)

**【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】**

- 令和 3 年度の小学校学力経年調査における算数の標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。  
(施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)
- 全国体力・運動能力、運動習慣調査において、課題である反復横とびの平均の記録を、前回実施より向上させる。(男子 38・女子 36)  
(施策 7 健康や体力を保持増進する力の育成)
- 令和 3 年度の小学校学力経年調査「読書は好きですか」に対する肯定的な回答を 65% 以上にする。  
(施策 3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援)

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

### 【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

#### 全市共通目標（小・中学校）

- 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。  
(施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)
- 小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を85%以上にする。  
(施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)
- 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。  
(施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)
- 年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。  
(施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)

#### 学校園の年度目標

- 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消に向けて対応している割合を95%にする。  
(施策2 道徳心・社会性の育成)
- 小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる」と答える児童の割合を、85%以上にする。  
(施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)
- 小学校学力経年調査における「自分には、良いところがあると思いますか」の項目について、肯定的回答をする児童の割合を、75%以上にする。  
(施策2 道徳心・社会性の育成)
- 年度末の保護者アンケートにおける「学校は、家庭・地域と連携した、特色ある取り組みを進めている」の質問に肯定的回答をする保護者の割合を70%より向上させる。  
(施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援)

### 【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

#### 全市共通目標（小・中学校）

- 小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。  
(施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)
- 小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント減少させる。  
(施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)
- 小学校学力経年調査における正答率が市平均を2割以上上回る児童を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント増加させる。(施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)
- 小学校学力経年調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度（66%）より増加させる。  
(施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)
- 全国体力・運動能力、運動習慣調査において、特に課題である反復横とびの平均の記録を、前回実施より1ポイント向上させる。  
(施策7 健康や体力を保持増進する力の育成)

#### 学校園の年度目標

- 小学校学力経年調査における算数の標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。  
(施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)
- 小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対する肯定的な回答を65%以上にする。  
(施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)
- 小学校学力経年調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度（66%）より増加させる。  
(施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)
- 全国体力・運動能力、運動習慣調査において、課題である反復横とびの平均の記録を、前回実施より向上させる。（男子38・女子36）  
(施策7 健康や体力を保持増進する力の育成)

### 3 本年度の自己評価結果の総括

#### 【安心・安全の実現に関する事項】

地域・保護者とも連携し、協力を得ており、着実に安心・安全な学校の取り組みを進めることができている。

#### 【学力・体力の向上に関する事項】

(学力) 話し合いの機会を増やしたり、読書活動に力を入れるなどの取り組みが結果に表れていないが、着実な取り組みを弛まず進めたい。

(体力) 握力、長座体前屈ともに全国平均を上回っている。反復横とび、シャトルラン、立ち幅跳びなど技術が伴い事前の指導が必要な運動について結果が低いことから、指導に工夫を加え、児童の体力・運動能力の促進を図りたい。

#### 【全体】

地域・保護者による学校教育活動への支援は、昨年と比べはるかに大きくなり、学校協議会主導の教育理念作成、PTA 独自の企画実施の読書活動推進（おやこでミッション）など、主体的な学びの場を目指す環境は進展を見せ、児童への影響は大きい。来年度は、結果への反映を目指す。

## 大阪市立加美小学校 令和 3 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A : 目標を上回って達成した B : 目標どおりに達成した  
C : 取り組んだが目標を達成できなかった D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</b></p> <p><b>全市共通目標（小・中学校）</b></p> <p>○ 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消に向けて対応している割合を 95%にする。 (施策 2 道徳心・社会性の育成) <b>A→100%</b></p> <p>○ 小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を85%以上にする (施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の実現) <b>A→89, 8%</b></p> <p>○ 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる (施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の実現) <b>A→該当児童数ゼロ</b></p> <p>○ 年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる (施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の実現) <b>C→1 名/3 名</b></p> <p><b>学校園の年度目標</b></p> <p>○ 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消に向けて対応している割合を 95%にする。 (施策 2 道徳心・社会性の育成) <b>A→100%</b></p> <p>○ 小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる」と答える児童の割合を、85%以上にする。 (施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の実現) <b>A→89, 8%</b></p> <p>○ 小学校学力経年調査における「自分には、良いところがあると思いますか」の項目について、肯定的回答をする児童の割合を、75%以上にする。 (施策 2 道徳心・社会性の育成) <b>C→65, 4%</b></p> <p>○ 年度末の保護者アンケートにおける「学校は、家庭・地域と連携した、特色ある取り組みを進めている」の質問に肯定的回答をする保護者の割合を 70%より向上させる。 (施策 3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援) <b>B→アンケート未実施も PTA・地域ともに昨年度以上の活動実績があるので、昨年度実績 77%を上回る見込み。</b></p>	<p>A</p> <p>A=3 B=0 C=1</p> <hr/> <p>B</p> <p>A=2 B=1 C=1</p>

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p><b>取組内容①【施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】</b></p> <p>いじめを確実に認知し教職員内で周知徹底し指導する。</p> <p><b>指標</b>：月に一度、年に 11 回の全職員による「生活指導連絡会」を開催する。→計画通り実施</p>	B
<p><b>取組内容②【施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】</b></p> <p>生活指導部を中心に児童が主体的に行動できる取組を行う。</p> <p><b>指標</b>：月ごとの明確な生活目標を提示し、児童朝会で年間 6 回以上（各学期 2 回）の生活指導に関する指導を行う。 →各学期 8 回から 10 回の指導</p>	A
<p><b>取組内容③【施策 2 道徳心・社会性の育成】</b></p> <p>自尊感情の向上を目指し、校内で表彰する機会を増やす。</p> <p><b>指標</b>：地域によるあいさつコンクールを実施するなど年度末に児童朝会で表彰する。校長表彰を年 2 回以上実施する。 →地域 1 回、校長表彰 3 回</p>	A
<p><b>取組内容④【施策 3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】</b></p> <p>学校協議会を中心に特色ある取り組みを進める。</p> <p><b>指標</b>：土曜授業日に加美ふれあい広場を実施する。学校の「基本理念作成」のプロジェクト、及び「卒業レポート作成」のプロジェクトを立ち上げる。 →加美ふれあい広場・実施。基本理念は作成開始。卒業レポートは未着手</p>	A

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
-------------------------

<b>【安心・安全の実現に関する事項】</b>
-------------------------

地域・保護者とも連携し、協力を得ており、着実に安心・安全な学校の取り組みを進めることができている。特に地域・PTA による活動は、初めての試みにもかかわらず、積極的に活発な企画・実施となった。
--

次年度への改善点
----------

本年度の取り組みを着実に進め、更に具体的な結果を出す努力を重ねたい。
------------------------------------

## 大阪市立加美小学校 令和3年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した  
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</b></p> <p><b>全市共通目標(小・中学校)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。(施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組) <b>C→4年 101.7/99.0 5年 96.4/96.6 6年 97.4/95.9</b></li> <li>○ 小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント減少させる。(施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組) <b>C→4年 13.0/17.1 5年 25.9/17.1 6年 23.9/25.0</b></li> <li>○ 小学校学力経年調査における正答率が市平均を2割以上上回る児童を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント増加させる。(施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組) <b>C→4年 37.7/26.8 5年 15.3/11.0 6年 16.9/15.8</b></li> <li>○ 小学校学力経年調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度(66%)より増加させる。(施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組) <b>A→71.6</b></li> <li>○ 全国体力・運動能力、運動習慣調査において、特に課題である反復横とびの平均の記録を、前回実施より1ポイント向上させる。(施策7 健康や体力を保持増進する力の育成) <b>C→男子 37.8回/31.71回 女子 36.1回/29.36回 (30秒・回数)</b></li> </ul> <p><b>学校園の年度目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小学校学力経年調査における算数の標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。(施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組) <b>C→ 4年102.4/101.2 5年 97.1/98.8 6年 99.4/93</b></li> <li>○ 小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対する肯定的な回答を65%以上にする。(施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組) <b>A→73.7%</b></li> <li>○ 小学校学力経年調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度(66%)より増加させる。(施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組) <b>A→71.6%</b></li> <li>○ 全国体力・運動能力、運動習慣調査において、課題である反復横とびの平均の記録を、前回実施より向上させる。 <b>C→男子 37.8回/31.71回 女子 36.1回/29.36回 (30秒・回数)</b></li> </ul>	<p>C</p> <p>A=1</p> <p>B=0</p> <p>C=4</p> <hr/> <p>B</p> <p>A=2</p> <p>B=0</p> <p>C=2</p>

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p><b>取組内容①【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力への取組】</b></p> <p>15分間の集中トレーニングを実施する。</p> <p><b>指標：昨年度週2回の実施日を毎日、週5回の実施回数にする。 →計画通り実施。</b></p>	B
<p><b>取組内容②【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力への取組】</b></p> <p>読書への関心を高めるため、PTA読書感想文コンクールを実施する。</p> <p><b>指標：ひらちゃん読書ノートの受賞者を各学年10名以上出す。 →受賞者数98</b></p>	A
<p><b>取組内容③【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力への取組】</b></p> <p>研究授業と若手研修の充実を図る。</p> <p><b>指標：研究授業を6回実施。OJT事業による授業の直接指導を年間2回以上受ける。 →既定の研究授業数に加え、数時間の研究授業を実施した。OJT授業は、4回以上。</b></p>	A
<p><b>取組内容④【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】</b></p> <p>運動部により運動能力・運動習慣の向上を目指した取組を計画的に実施する。</p>	B

<b>指標：</b> かけあし週間、なわとび週間を年に 1 回以上実施する。→計画通り実施した	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>（学力）話し合いの機会を増やしたり、読書活動に力を入れるなどの取り組みが結果に表れていないが、着実な取り組みを弛まず進めたい。</p> <p>（体力）握力、長座体前屈ともに全国平均を上回っている。反復横とび、シャトルラン、立ち幅跳びなど技術が伴い事前の指導が必要な運動について結果が低いことから、指導に工夫を加え、児童の体力・運動能力の促進を図りたい。</p>	
次年度への改善点	
<p>児童を全体として捉える平均点での比較においては、伸びが表れていないが、現場の教職員の実感として、一人ひとりの個に応じた指導と個々の成長には手ごたえがあり、次年度も、実践を継続していきたい。</p> <p>特にコロナ禍の経験を活かした習得主義的な観点での学習の在り方・指導と評価について、継続的に研究・実践したい。</p>	